

病院を受診された患者さまへ

版番号 ; Ver. 1.1

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | |
|------------------------|--|
| 研究課題名 (研究番号) | 間質性膀胱炎患者の病態解明を目指した膀胱組織を用いた観察研究 |
| 当院の研究責任者 (所属) | 兼光紀幸 (洛和会丸太町病院泌尿器科) |
| 他の研究機関および 各機関の研究代表者 | 研究代表機関：琉球大学大学院医学研究科システム生理学講座 宮里実 岐阜大学 大学院医学研究科 泌尿器科学分野 (研究責任者：古家 琢也) 岐阜赤十字病院 泌尿器科 (研究責任者：三輪 好生) 上田クリニック (研究責任者：上田 朋宏) |
| 本研究の目的 | 膀胱の組織や尿を詳しく調べる事で間質性膀胱の病気の理解を深め、将来的に新しい診断法や治療法の開発につながることを目指しています。 |
| 研究実施期間 | 研究機関の長の許可日～2030年3月31日 |
| 調査データ(該当期間) | 2008年1月～2026年3月の期間の情報 |
| 研究の方法 (利用する試料・情報等) | ●対象となる患者さま 2008年1月～2026年3月の間に、当院で膀胱生検または手術加療を受けた間質性膀胱炎患者 ●利用する試料・情報 試料；膀胱組織、尿 基本情報：生年月、性別、年齢、身長、体重、過去の手術歴、現在の内服薬、喫煙歴、飲酒歴、疾患情報(基礎疾患、過敏性腸炎、線維性筋痛症などの併存疾患)、血液検査(ヘモグロビン、アルブミン、総蛋白、クレアチニン、CRP)、膀胱鏡初見(ハンナ病変の有無)、排尿機能(排尿量、残尿量)、国際前立腺肥大症スコア(IPSS)、QOLスコア、過活動膀胱症状スコア(OABSS)、間質性膀胱炎症状スコア(ICSI) 間質性膀胱炎問題スコア(ICPI)、PUF症状スコア(Pelvic Pain and Urgency/Frequency Symptom Score) |
| 試料/情報の 他の研究機関への提供 | 当院から共同研究機関への試料・情報を提供することがありますが、本研究に関わることで個人情報は一切含みません。尿の一部を外部委託事業者 |

| | |
|---------------------------|--|
| <p>および提供方法</p> | <p>へ送って検査しますが、個人情報提供は提供しません。また、本研究の目的以外の利用、同意の範囲外での利用は行いません。</p> |
| <p>試料・情報の二次利用</p> | <p>本研究で収集した試料・情報は、今後新たな研究に利用することがあります。新たな研究に利用する場合には、人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査により新たに承認された後に情報を使用させていただきます。</p> |
| <p>個人情報の取り扱い</p> | <p>研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化した状態で利用します。この研究の結果は、学術雑誌や学会にて公表されることがありますが、名前や個人を特定できるような情報が使用されることはありません。学会等の報告にあたっては、個人が特定される情報を報告することはありません。</p> <p>◇当院での対応表の管理方法 洛和会丸太町病院泌尿器科 部長 兼光紀幸が、研究室内のインターネットに接続されていないパソコンで管理します。</p> <p>◇共同研究機関の対応表の管理方法 各機関の管理責任者が保管し、機関の間で対応表の授受は行いません。</p> |
| <p>本研究の資金源 (利益相反)</p> | <p>本研究の資金は文部科学省科学研究費助成事業で行います。また、各研究機関の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得て行います。</p> |
| <p>お問い合わせ先</p> | <p>洛和会丸太町病院泌尿器科 電話：075-801-0351 担当者：兼光紀幸</p> |
| <p>備考</p> | |